

平成30年度 文化財修復検討部会（報告）

1. 日時

【第1回】平成30年7月20日（金）13時～15時

出席委員：田中部会長、伊東（龍）委員、北野委員、北原委員、千田委員、長谷川委員、
宮武委員、山尾委員、吉田委員、和田委員、平井委員（オブザーバー）

欠席委員：西形委員

事務局：文化庁（文化財資源活用課）、熊本県（文化課）、熊本市、関連受託業者

【第2回】平成30年10月18日（木）13時～15時30分

出席委員：田中部会長、北野委員、長谷川委員、山尾委員、和田委員、
平井委員（オブザーバー）

欠席委員：伊東（龍）委員、北原委員、千田委員、宮武委員、吉田委員、西形委員

事務局：文化庁（文化財資源活用課）、熊本県（文化課）、熊本市、関連受託業者

2. 協議事項

(1) 天守閣復旧整備工事について

○大天守石垣復旧について（第1回）

大天守石垣復旧設計 →了承

⇒現在、積み直し工事を実施中

○大天守穴蔵石垣安全対策について（第1回） →了承

⇒現在、安全対策工事に着手

○小天守入口の安全対策について（第2回）

3案を提示。→継続審議中。

○石垣解体調査成果について（第2回）

石垣解体調査成果を報告。江戸期石垣のグリ石・介石の詰め方など、江戸期の技術を可能な限り石垣復旧に活かす。 →了承

(2) 飯田丸五階櫓について

○飯田丸五階櫓台石垣解体について（第2回）

飯田丸五階櫓台石垣解体修理に周辺石垣の解体修理の必要性を提案。 →了承

⇒修理対象石垣・修理対象範囲を決定するために石垣測量調査を実施する。

(3) 長堀復旧について（第1・2回）

○長堀周辺の排水機能・水系調査 →了承

○長堀への樹木の影響 →了承

○長堀北側排水溝付近の沈下に対する復旧の考え方 →了承

⇒ 沈下部分は今後も観察継続。工事請負業者入札手続きに着手。

(4) 構造解析

○宇土櫓石垣の安定性について（第2回）

・櫓直下部（北面、西面）について

石垣の積み直しは不要。但し、西面の部分的な孕み部は強度低下に寄与している可能性が高く、補強も含めて検討。→了承

・続櫓下部について

極めて不安定な状態と考えられ、積み直しを含めた修理が必要。修理手法について、今後、検討。→継続審議

○飯田丸五階櫓台石垣の安定性について（第2回）

・建造物の荷重を石垣へ載荷した方が耐震上有利となる傾向が提示された。

・コンピュータによる数値解析と並行して静的な力の釣り合いの検討による示力線法等により評価することを試みる。→継続審議

○長堀石垣の安定性について →了承

○熊本城石垣の安定性検証について →継続審議

・土木学会において実施した「改良した示力線による熊本城内の石垣安定性の検討」について報告。石垣の安定性の検証については、今後も議論を重ね、検討を深めていく。

・来城者ルートを想定した場合の構造補強について説明。ルートを含めて検討。

○その他

・コンピュータによる数値解析による評価は課題が多いため、数値解析主体の現状は改める必要がある。

3. ワーキンググループの開催

○石垣ワーキンググループ

平成30年5月28日、6月29日、7月20日、9月27日

○構造解析ワーキンググループ

平成30年5月1日、6月4日、9月27日

○建築ワーキンググループ なし

○合同（石垣・構造解析）ワーキンググループ

平成30年9月27日